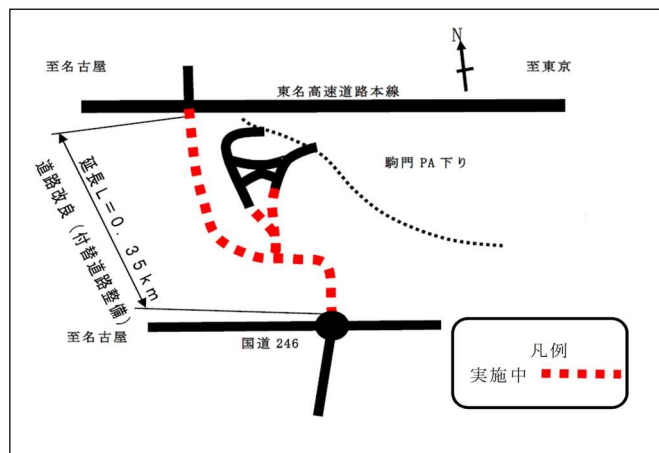
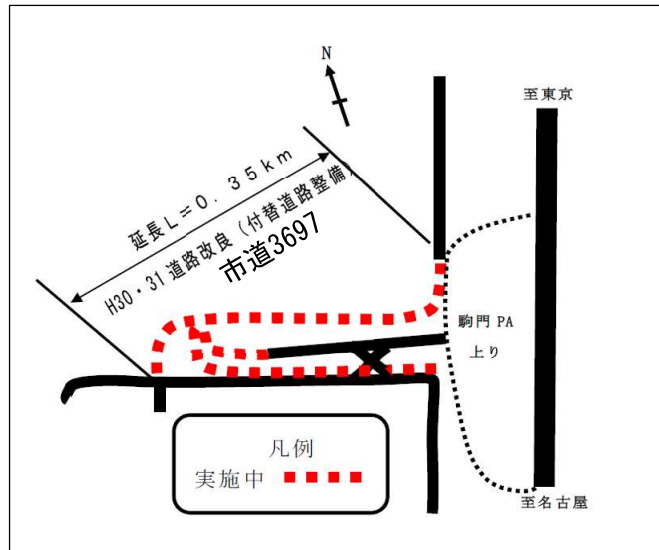
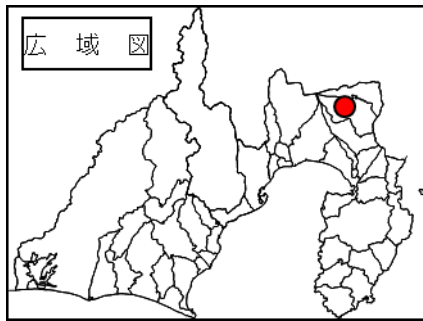


再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：環境安全・防災課
担当課長名：野田 勝

事業名	スマートICアクセス補助 市道3697号線（駒門SIC上り）	事業区分	地方道	事業主体	静岡県御殿場市
起終点	市道3697号線 自：静岡県御殿場市駒門1丁目9番 至：静岡県御殿場市駒門1丁目10番	延長	市道3697号線 0.35km		
事業概要	御殿場市に位置する市道3697号線（延長約0.35km）及び市道3698号線（延長約0.35km）において、東名高速道路駒門PAに連結する（仮称）駒門スマートICのアクセス道路として付替え整備を実施するものである。				
H28年度事業化	H28年度連結許可決定	H28年度用地着手	H29年度工事着手		
全体事業費	約7億円	事業進捗率	94%	供用済延長	—km
計画交通量	800台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)
	7.4	6.2/6.2億円	事業費：6.2/6.2億円 維持管理費：0.0/0.0億円	46/46億円	基準年 平成27年
	(残事業)			走行時間短縮便益：35/35億円 走行費用減少便益：9.0/9.0億円 交通事故減少便益：3.0/3.0億円	
	7.4				
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=8.2 (+10%) 6.7 (-10%) (交通量±10%) 事業費：B/C=6.8 (+10%) 8.3 (-10%) (事業費±10%) 事業期間：B/C=6.8 (+20%) 8.3 (-20%) (事業期間±20%)				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ①駒門周辺にある工業団地から東名高速道路までのアクセス時間の短縮による企業活動・物流の効率化 ②御殿場市内の観光地・施設へのアクセス性向上による観光客の増加 ③東名高速道路へのアクセス性向上により、高次医療施設への搬送時間の短縮等による救急・救命活動の迅速化の支援 ④災害派遣に対して速やかに被災地に移動する経路を確保し迅速に対応 				
関係する地方公共団体等の意見	設置地域への説明会を実施し周辺地域と合意形成を図っている。				
事業評価監視委員会の意見	事業継続を妥当と認める				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	特になし				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率約100%、事業進捗率約94%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	進捗は順調。今後、高速道路区域を高速道路会社に任せ平成31年度末日までに供用を開始する。				
施設の構造や工法の変更等	掘削土の有効利用による工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。